

進路だより

令和7年7月18日
東京都立中野特別支援学校＋
しいの木分教室
校長 和田 慎也
担当 西應 幸恵
第2号

【専任より】

いつも、本校の進路指導に御理解と御協力を賜りまして、ありがとうございます。

先月、今年度初めての「保護者向け進路研修会」を実施いたしました。第1回目の研修会では、学区の自治体の障害福祉課の方を講師としてお招きし、学校卒業後の福祉サービス利用について御講演いただきました。講師の方から具体的なお話をいただくことで、学校卒業後の福祉サービス利用についての理解を深めることができました。当日、御参加いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

先日、多くの保護者の方から、学校卒業後の進路先選択の考え方についてのお問い合わせをいただきました。企業就労と福祉サービス利用の違い、福祉サービス利用の中でも、就労移行支援と就労継続支援、生活介護のそれぞれのサービス利用における考え方について知りたいとのことでした。

始めにお伝えしたいのは、学校が言うところの「進路」とは、学校卒業後すぐの「進路」ということです。卒業式を迎え、「次年度4月からの『進路先』をどこにするか？」について、御相談させていただいております。したがって、生涯の進路先を決めるものではないことを御理解いただきたいと思います。その上で、学校卒業後の進路先選択の考え方について、私は以下のように考えております。

福祉サービス	生活介護	日常生活支援（移動、着替え、食事、排せつなど）を含め、多くの支援を受けて活動したい。
	就労継続支援	支援を受けながら作業を中心とした活動をしたい。 作業をすることで、お金（作業工賃）がほしい。
	就労移行支援	支援を受けながら企業就労を目指したい。（2年以内）
企業就労		障害のある／なしに関わらない環境で、仕事をして給料を稼ぎたい。 ※就労をする上での配慮はあるが支援はない。
進学		大学や専門学校、職業訓練校、高等部専攻科等で、更に学びたい。 ※大学や専門学校への受験を検討する際、受験資格に注意が必要。 ※職業訓練校には知的障害のある方の学科あり。大学や専門学校では、支援や配慮をどの程度求められるかは学校による。 ※高等部専攻科：東京都では旭出学園のみ

御本人、保護者の皆様には、学校卒業後すぐの目先の「進路」という視点ではなく、社会に出た後のそれぞれのステージ（年代）において、どこで誰と生活し、どんなことをして日々を過ごしていくか、長い目で「進路」を考えてみてはいかがでしょうか。
(田邊 大樹)

【専任より】

1学期も本校進路指導への御理解・御協力をいただきまして、ありがとうございます。

高等部では卒業後の進路を決めるための現場実習が始まります。実習は学校、御家庭での取り組みを発揮する場でもあります。社会に出るにあたり、様々な課題をいただける場でもあります。今号では実習後に必ず実習先に書いていただく評価表の一部を共有させていただき、そこから卒業後に何が求められるかを考えていきたいと思います。

- ・気持ちよく人に接することができ、積極的に取り組む姿は大変好感のもてものでした。
- ・落ち着かない利用者さんがいても動じることなくマイペースに作業に取り組むことができていました。作業所は学校より人数配置が少ないため、通所、ADLなどの課題は在学中に取り組んでおいてください。
- ・言われたことを素直に受け止め、忘れたことも素直に認めることができていました。そして、自ら直そうという姿も見られました。

以上のような評価から仕事ができる、できないはもちろん大事なことです。意欲、ADLの確立、一人通所、集団への参加など、働くための土台を評価されていることが分かるかと思います。このような力は学校生活だけではなく、普段の生活の中でも身に付けられる力です。まずは洗濯物をたたむ、洗い物をしてみる、一人で近所のスーパーで買い物をしてみるなど、身近なことから取り組んでみてください。時間を要し、不安になれることもあるかもしれませんが、コツコツ取り組んだことがお子様たちの自信となり、きっと花開く時がくるはずです。

(江川 拓郎)



～各学部より～

【小学部】

小学部5・6年生は、6月26、27日に移動教室へ行ってきました。5年生では、初めて保護者から離れての宿泊という人が多く、緊張や不安な様子を見せつつも、友達や先生と様々な経験をし、「がんばった」「やりきった」表情をしていたのが印象的でした。6年生は、昨年の経験を覚えている児童が多く、事前学習の場面から「あれだな」と想像して取り組み、当日も1つ1つの行動に見通しをもち、昨年より楽しんでいる人が多くいたように思います。積み重ねた経験は「自立」に向けた一歩であり、子供たちの自信につながっていくと思います。御家庭でも行事への準備など、ご協力いただきありがとうございました。

さて明日から夏休みです。家で過ごす時間が増えるこの時期に、「自立」の一つとして、お手伝いを取り組んではいかがでしょうか。毎日続けて取り組むことで、達成感を得たり、継続して取り組み力をつけたりすることができます。無理なくできる内容やペースで、まず1日1つから取り組んでみてください。

(八木澤 小織)

【中学部】

進路学習では就労後の職業生活について学んでいますが、中学部にとって目の前の進路はやはり「高等部進学」かと思います。3年生では、来年の高等部進学に向けての準備が始まりました。今号では、3年次にスタートする高等部進学までの流れをお伝えいたします。

まず初めに「入学相談説明会(学校説明会)」(6月)があります。それを受けて「事前相談」(8月)に参加します。これは生徒・保護者と教員の面談です。その後「入学願書提出」(1月中旬)を経て、「入学相談」(2月初旬)に臨みます。これは学力検査や面接などのことです。そして合格者発表の後「入学説明会」(2月末頃)、という流れになります。一つ一つが進学に向けて保護者の皆様に御協力いただく大切な取り組みになりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、中野特別支援学校か練馬特別支援学校、どちらに進学するかは居住区によって定められています。両校の進学までの流れは大まかには同じですが、手続等で異なる点もあります。両校からの御案内は、全て中学部の進路指導部を介して書面でお伝えします。

また、就業技術科や職能開発科といった、職業教育を主とする専門学科を設置している学校もあります。(永福特別支援学校就業技術科や練馬特別支援学校職能開発科など)こちらは入学者選考がありますが、興味のある方は見学会や説明会が各校で開催されていますので、詳しくは東京都教育委員会や各校のホームページ等で御確認ください。(併願される方も、居住区の特別支援学校での説明会・事前相談に出席する必要がありますので御注意ください。)

進学に関しまして、御不明な点などがありましたら中学部進路指導部の教員に御遠慮なくお尋ねください。

(西應 幸恵、玉野 希)

【高等部 1 年】

高等部 1 年生は、9 月 25 日(木)、26 日(金)に職場見学を実施いたします。お子様にとって貴重な体験となりますよう、以下の点について御確認と御協力をお願いいたします。

- ①「職場見学の目的」実際の職場環境や働く人々の様子を見学し、「働く」ことの意味を理解する。
- ②「将来の進路選択の参考にする」様々な職種や職場を知ること、興味や適性を発見し、将来の進路選択に活かす。
- ③「社会性の向上」職場でのマナーや挨拶、コミュニケーションの大切さを学ぶ。

☆御協力をお願いしたい点☆

- ・ 基本的な生活習慣の確認
- ・ お子様との話し合い（職場見学への期待や不安について聞いてみてください）
- ・ 体調管理（見学当日に向けて、規則正しい生活を心がけてください）

職場見学は、お子様にとって将来を考える大切な機会です。見学後は、ぜひ御家庭でも感想を聞いていただき、お子様の気持ちに寄り添いながら、将来への希望や目標について一緒に考えていただければと思います。

何か御質問や御心配な点がございましたら、遠慮なく担任または進路指導担当まで御連絡ください。

(小暮 亮介、中山 里奈)

【高等部 2 年】

1 学期に行われた現場実習では、通勤練習や送迎、昼食の御準備など、保護者の皆様には多大なる御協力を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで、大きな事故やトラブルもなく、無事に実習を終えることができました。

実習前には、「不安です」「緊張しています」といった声が多く聞かれました。実習中も、初めての環境での初めての作業に戸惑う場面があったかと思います。しかし、実習後には、生徒たちは晴れやかな表情で、学年の教員や友人に実習の様子を楽しそうに話していました。生徒の皆さんにとって、達成感を得るとともに、多くの学びを得る貴重な経験となったことと思います。

生徒の皆さん、今回の実習でうまくできたことや褒めていただいたことがありましたね。自信をもってください。そして、さらに磨きをかけて、自分の強みとして生かしていきましょう。注意された点は、学校で言われていることと同じだ、と感じたこともあったのではないのでしょうか。今回見つかった課題点は、夏休み中に家で手伝いをしたり、今後の学校生活で練習したりして、改善・克服できるように意識し続けてください。

2 学期からの現場実習では、事前面談、初日の御挨拶、最終日の反省会など、保護者の皆様には御足労をおかけし、お時間をいただくことがさらに増えます。我々教員も、より良い現場実習になるよう支援をしてまいります。引き続き連携を密に取りながら、実習への御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

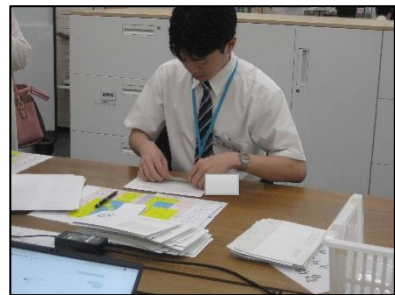
(久野 智宏、中川 琴絵)



【高等部3年】

いよいよ高等部三年生としての現場実習が本格的にスタートし、1学期が無事に終了しました。今回の現場実習では、自分の「働く姿」を具体的に思い描き、将来の進路を考えるうえでとても大切な機会です。学校で学んできたことを実際の職場で生かし、「できること」「頑張ったこと」を一つ一つ積み重ねていく経験となります。生徒の皆さんはそれぞれの実習先で、緊張しながらも一生懸命に取り組み、大きな経験を重ねることができました。慣れない環境や新しい仕事に戸惑いながらも、毎日通い続けたこと、与えられた役割をやり遂げたことは、大きな自信につながったことと思います。

実習では、慣れない環境や人間関係の中で、不安や緊張を感じることもあるかと思いますが、それも含めて大きな学びとなります。体調管理に気をつけながら、毎日元気に出勤すること、自分からあいさつや返事をしっかりとすること、指示をよく聞いて行動すること等、基本的な姿勢こそ大切にしていきたいと思います。



御家庭の皆様には、日々の送り出しや生活リズムの調整、激励の声かけ等、御協力と御支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。今後は今回の実習をもとに、次の実習に向けた面談や準備に加え、進路決定に向けた具体的な動きが始まります。学校と御家庭で力を合わせて、それぞれの「自分らしい進路」を支えていきたいと思います。

(江口 三知子、松尾 啓矢)



就労選択支援について

「就労選択支援」は、2024年の法改正により新たに創設された障害福祉サービスで、障害のある方が自分に合った働き方や就労支援サービスを主体的に選べるよう支援するサービスです。

- ・ 目的：障害のある方本人が希望・能力・適正に合った働き方を選べるようにする。
- ・ 開始時期：令和7年10月25日から段階的に開始
- ・ 対象者：新たに就労系福祉サービス（就労継続支援、就労移行支援）を利用希望の方（高等部生徒含む）
既に利用していて、支給決定の更新を希望する方

「就労選択支援」の実施方法については、各自治体において議論されているところです。今年度の高等部3年生については、「就労選択支援」を実施せず、就労継続支援B型施設を希望者のみ、従来の就労アセスメントを実施することになっております（杉並区の方は、高2で実施済み）。現高等部1・2年生については、今後、各自治体より発表があることが予想されます。その際は、学校から御案内いたします。
